



第4学年

研究主題

自己の生き方について考えを深め、
歩む子を目指して
～ 関わりあい・語りあい・高めあい～

未来について学ぼう！ ニュースポーツ！

バラスポーツや福祉教室に携わる人々の思いを知り、みんながどのような考えを持つことが大切かを考え、みんなが楽しめるニュースポーツを考案する活動を通して、共生社会を実現するために必要な新たな考え方や課題に気づき、誰もが自分らしく生きることができるようにする活動に取り組んだ。
・体験活動の重視(バラスポーツ、福祉教室、当事者の方との出会い、文化スポーツ課との関わり、大谷小学校との交流、老人ホームへ訪問など)

総合的な学習
の時間

学級活動

毎月の学級目標をふりかえる

毎月学級会を開き、自分たちで約束をつくって守ろうとすることで責任を持ちながら相手の気持ちに寄り添った集団活動ができるよう取り組んだ。

国語

クラスみんなで決めるには

学級における諸問題に対する自分の考えとその理由を明確に伝えながら話し合う活動を通して、自分と異なる意見も大切であることに気付く。

各教科等

思いやりって(親切,思いやり)

骨折した友達に手を貸そうとする「わたし」の姿などを通して、思いやりとはどんなものかについて考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、親切な行為を進んで行おうとする判断力を育てる。

つまらなかった(相互理解,寛容)

何気ない言葉を巡ってすれ違う二人の姿などを通して、互いに分かり合うのに大切なことを考えさせ、自分の思いを伝えるとともに、相手のことを理解し、信頼しようとする心情を育てる。

道徳

はるにれフェスタ

共生社会を実現するためのイベントに向けて自分と違う意見や考えのよさを生かしながら取り組むことができた。

学習発表会

本番へ向けて、自分や相手のよさを認め合いながら、よりよい人間関係を築いていけるよう取り組んだ。

運動会

実行委員を立て、多様な意見を尊重し、みんなで協力しながら責任を果たすことができた。

学校教育活動

学年の目指す児童像

- ①自ら考え、判断し、行動する子 (希望と勇気・努力と強い意志)
- ②相手を思いやり、進んで親切にする子 (親切・思いやり)
- ③相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること子 (相互理解・寛容)